

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月8日

事業所名 湯沢雄勝広域市町村圏組合やまばと園
放課後等デイサービス事業所

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用定員10名に対して、指導訓練室等の基準を満たしたスペースとなっています。状況に応じてパーティションを活用し、特性に合わせて個室スペースを確保する等の支援を行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			常時4~5名の職員を配置しており、基準を満たしています。	専門性が高くなるような研修等を継続的に行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			室内は段差もなく、バリアフリーな環境が整備されています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			マニュアル等を整え、PDCAサイクルへの職員の参画を意識しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向け評価表の結果に基づき業務の改善に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページで公表しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	外部評価は実施していませんが、法人が行う内部監査等を通じて、業務の改善に努めています。	外部評価については、法人にて検討を行っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			内部研修や外部研修へ参加し、資質の向上に努めています。また、研修に参加した職員から伝達研修を受け、参加していない職員への周知を行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用者様、保護者様のニーズを伺い、職員間で検討をして一人ひとりに合った個別支援計画書を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			法人で統一された様式を活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員間で話し合いを行い、活動内容を立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			活動プログラムが固定化しないように、季節毎の制作を行ったり、特性に配慮した個々の活動ができるよう工夫しています。	今後も個々に応じた活動内容を模索しながら、活動が固定化しないよう努めていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			曜日や利用人数等によって課題を決めて支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			集団活動を中心として、利用者様の状況に応じた個別活動を組み合わせています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			支援開始前に活動内容や役割分担、個々に応じた支援内容等について確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援終了後には振り返りを行い、職員間で情報共有をしています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			職員間で情報共有を図り、正しい記録につなげています。記録の振り返りから、より良い支援に繋がるよう努力しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6ヶ月に1回モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている		○		ガイドラインの内容に沿って複数の基本活動を組み合わせるように努めてますが、地域交流の機会の提供は十分に行えていません。	今後は、感染症の状況を見ながら、多様な学習・体験を通して社会経験の幅を広げていけるように検討していきたいと思います。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者と必要に応じてスタッフが参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校から毎月教育計画表をいただいで情報共有したり、事業所との情報交換会(2回)を行うことで、より良い支援に繋がっています。	今後も学校との情報共有を図りながら、統一した支援ができるように努めていきたいです。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○	該当者がいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			利用開始前に幼稚園等からの情報を得ることで、環境整備等に役立てました。	今後も関係機関との情報共有に努めながら、サービス向上に努めていきたいです。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			相談支援専門員を介して情報提供していました。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			児童支援・療育部会研修会に参加し、支援の参考にしています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	そのような機会はありませんでした。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			児童支援・療育部会へ出席しました。出席できない場合は、出席した相談支援専門員から伝達を受けました。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			利用時は毎回連絡帳にて状況を伝えたり、送迎時に保護者様と直接お話しし、共通理解に努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	ペアレント・トレーニングは行っていません。	今後は研修等を通して、スキルアップを図っていききたいと思います。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			重要事項説明書や利用契約書の説明を通して運営規定や利用者負担額等について、分かりやすく伝えるよう努めています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者からの相談等については、必要に応じて助言等を行っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	現在、父母の会の活動支援等は行っていません。	父母の会の必要性等、保護者の方々のご意見をいただきながら検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情相談受付の体制は整っており、ポスター掲示や重要事項説明書で公表しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			○	お便りを発行し、活動中の様子を写真を通して伝えています。	お便り以外に、ホームページに活動の様子を掲載していきます。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報保護規定等マニュアルが整備されています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			文字や絵カードで分かりやすくしています。言葉以外でも、行動の前後から思いを汲み取るようにしています。保護者とは、連絡ノートやお迎えの時に意思疎通を図っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			新型コロナウイルス流行前は、やまばと園の行事に招待しています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			○	マニュアルが整備されており、職員で読み合わせをして周知しています。保護者に対する周知としては、十分とは言えません。	今後、マニュアルに関する内容を保護者にも周知するように努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			防災マニュアルを整備し、避難訓練を実施しています。お便りを通じて、保護者へ伝えています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			マニュアルを整備し、園内研修に参加して理解を深めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			身体拘束を行う場合のマニュアルを整備し、マニュアルを周知しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			現在は、該当者はいません。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事業所内で共有しています。	